

魅力ある授業のために（単元化例） 言語文化 読むこと

1 単元の目標

- (1) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。〔知識及び技能〕 (2)ウ
- (2) 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。〔思考力、判断力、表現力〕 B(1)ア
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	言語文化	学年類型	1年	単位数	2単位	話すこと 聞くこと	
単元名	古文と漢文の文体と内容を比較し、文体の特徴をつかもう （『日本の橋』裁断橋）					書くこと	
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。		「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。		文体の特徴をまとめる活動を通して、文体が内容に与える影響について、粘り強く理解しようと取り組み、既習の学習に結びつけて考察しようとしている。			
主たる言語活動							
古文と漢文の文体と内容を比較し、文体の特徴をまとめる活動。							
時間	授業のねらい・主たる学習活動			重点項目			評価方法
				知	思	態	
1	裁断橋擬宝珠銘文を読み、古文と漢文の違いを捉える。 ①単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ②2種類の銘文をペアで交互に音読し、リズムの違いについてペアで話し合う。 ③2種類の銘文の解釈についてペアで担当を決め、解釈文を作成する。 ④互いの解釈文を共有し、2種類の銘文の文体と内容の相違点をワークシートに書き出す。			○	◎		・行動の点検（音読） ・記述の分析（ワークシート）
2	文体の特徴を踏まえ、『日本の橋』を読んで保田の評価を考察する。 ⑤4人程度のグループで相違点を発表し合い、文体のもつ特徴を協議する。協議内容をまとめ、クラス全体の発表に向けて準備する。 ⑥班のまとめを発表する。 ⑦『日本の橋』を読み、保田の評価した点を考察してワークシートに記述する。 ⑧考察についてペアで共有し、ワークシートに感想を書く。 ⑨振り返りを行う。				○	◎	・行動の確認（発表） ・記述の分析（振り返り）
定期考査				◎			

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	本文の内容や構成、展開などについて、叙述を基に的確に捉えた上で、古文と漢文のもつ文体の特徴を十分に理解し、その違いを説明している。	本文の内容や構成、展開などについて、叙述を基に的確に捉えた上で、古文と漢文のもつ文体の特徴を理解している。	古文と漢文の特徴を比較している。